



ひよこ組

【5月の保育のねらい】

- ・一人ひとりの生活リズムを大切に安心して過ごす。
- ・保育者に見守られながら好きなおもちゃで遊ぶ。



「一緒に、共育ち」

ひよこ組9名保育園での生活が始まりました。新生活、お父さんお母さんもドキドキなスタートだったことと思います。登園時や寝る時などまだ泣いてしまうことがありますが、少しずつ慣れてきています。名前を呼ぶと目を合わせて、ふと笑顔を見せてくれるようになりました。その笑顔を見た時、私達はとても嬉しくなります。「覚えてくれたんだ」「安心してきているんだ」と思います。登園後は、抱っこで寝て布団に下りて眠ることができるようになってきました。それぞれの段階の離乳食を食べミルクを飲む時には、癖をつかみながらお腹が満たされるようにしています。また抱っこされていないと遊べなかった子が、少しずつ床に下りて好きなおもちゃに向かって移動したり、気に入ったおもちゃを手にして遊ぶ時間も長くなってきました。天気の良いときには、テラスに出て外気に触れて遊んでいます。

0歳児は「寝る・食べる・遊ぶ」の生活リズムが一つでも崩れてしまうと心地よく過ごすことができません。毎朝、個々のリズムを確認しながらすべてが満たされて笑顔で一日が過ごせるようにしていきたいと思っています。家庭での様子と園での様子をしっかりと伝えあいながら、お子さんを共に育てていきたいと強く願っています。どうぞよろしくお祈りします。



りず組

【5月の保育のねらい】

- ・安心できる保育者と関わり、落ち着いて過ごす。
- ・戸外での探索を楽しむ。



「いろんなことに興味津々」

りず組の生活が始まって1ヶ月がたちました。4月当初は慣れない環境や職員に不安な様子を見せていたこどもたちも、一日一日を過ごしていくうちに笑顔が増えてきました。

こどもたちが落ち着いてきた頃から、晴れた日は外に出ることが多くなりました。公園でも園庭でも、歩いたり走ったり、何かを拾ったり、興味の引かれたものに近づいたり、元気いっぱいです。行動範囲が広がり、好奇心に満ち溢れるこどもたちの真剣な表情や楽しそうな笑顔がたくさんです。あっちに行ったりこっちに行ったり、花や虫を見つめたり触ったりしながら探索を目一杯楽しんでいます。

万が一、素敵なおみやげ(石とか葉っぱなど)を持って帰った時は、お母さん、お父さんも一緒に喜んであげてくださいね。



うさぎ組

【5月の保育のねらい】

- ・砂や泥の感触を楽しむ。
- ・衣服や靴の着脱など、保育者に援助されながら自分でやってみようとする。



「砂、泥遊びって楽しい!」

1ヶ月が経ち、うさぎ組で過ごすことにも慣れて思い思いに自分の好きな遊びを楽しんでいるこども達です。園庭での砂遊びも好きで、「今日は園庭行く?」「お砂やる?」「お水出す?」と砂遊びをすることが楽しみなようです。

園庭に出ると、好きな容器に砂を入れたり、砂と水を混ぜて泥にして移しかえたり、料理を作ったりは「○○だよ」「甘いよ」と保育者に振舞ってくれます。保育者を介して友だちにも作ったものをあげたりもらったりと、やりとりを楽しむ姿もあります。また、砂、泥、水を触り「サラサラしてる」「冷たいね」と言ったり、泥を両手で握り「手にいっぱいついた!」など感触も楽しんでいます。みんなが好きな砂、泥遊び、今月もたくさんしていきたいと思っています。



ちゅうりっぷ組

【5月の保育のねらい】

- ・友だちと2人で手を繋いで歩く経験を重ねる。
- ・生活の流れがわかり、自分でやってみようとする。



「こどもたち同士で歩いています」

ちゅうりっぷ組になり、友だちと2人で手を繋いで散歩に出かけています。保育者が「手を繋ぐ人を決めてね」と声をかけると「一緒に繋ごう」と誘う姿や、「今日は○○ちゃんと繋いじゃったから、明日は一緒に繋ごうね」というこどもたちのやりとりが聞こえてきます。道路の端を歩く、間を空けずに歩く、横断歩道は左右を確認してから手を挙げて渡るなど、散歩のルールを確認してから出発です。「黄色いお花がかわいいね、○○ちゃんは何色が好き?」「あの車に乗って、どこにお出かけしたい?」と楽しそうに会話をしています。お話を夢中で、どんどん道路の真ん中に寄って行ってしまったり、手を挙げ忘れりする場面がありますが、その都度声をかけ、意識できるようにしています。慣れるまでは薬師公園や二丁目公園を目的とし、散歩のルールを伝えながら楽しく歩いていきたいと思っています。



さくら組

【5月の保育のねらい】

- ・身近な自然に触れながら、体を動かして遊ぶ。
- ・野菜を植え、関心を持って世話をする。



「虫探しを楽しんでいます」

進級した喜びもあり、さくら組の新しい生活にも少しずつ慣れ始め、毎日身の回りのことを自分でしようと頑張っています。

暖かい日差しの中、汗ばむくらい戸外遊びを楽しんでいるこども達です。

特に虫が好きな子が多く、公園の花壇や園庭の木陰などに向かい、落ち葉の下や穴を掘ったり、だんごむしやあり探しをしているこども達です。時にはミズも出てくることもあり大騒ぎになります。見つけると「こっちにいるからおいで」と友達を呼んだり、「3匹も見つけたよ」と自慢する姿もあります。また園庭では血や鍋、公園では手のひらに集めてじっと観察する姿が増えてきました。「こっちは小さいから赤ちゃんで、大きい方はママかな?」と友だちと言い合ったり、ダンゴ虫を手のひらにのせ「逆さにしても落ちないよ」と見せてくれたり、「こっちの方が走るの早いね。にんじん食べているのかな」とつぶやいたり、「こっちは小さくて色が薄いよ。でもこっちは大きくて色が濃いね」と何度も見ているうちに色や大きさの違いに気が付く子がいました。先日もみじ組が捕まえたてんとう虫の幼虫を見せてもらうことができました。「これとおんなじだね」とクラスにある絵本【足もとの生き物】を持ってきて見比べることができました。

これからも春の自然に触れながら、探索を楽しんでいきたいと思っています。



もみじ組

【5月の保育のねらい】

- ・集団遊びやグループ活動を通して、友だちとの仲間意識をもつ。
- ・植物や虫の観察・夏野菜の栽培をする中で、動植物への興味関心を深める。

「憧れのもみじ組」

「これ、僕たちがやってあげなきゃ!」と昨年度のもみじさんがしてくれていたホールの雑巾がけや、年下の友だちの手助けをしてくれるなど、年長としての意欲を感じる場面がみられ、進級の喜びが伝わってきます。

昨年度のもみじさんを思い出して行ったことの中に、グループ活動があります。「前のもみじさんが卒園式でくれたテーブルクロスには、「おおかみりぼん」とか名前が書いてあったよね。」などを思い出し、まずはグループの名前から考えることにしました。それぞれが考えてきた名前を持ち寄って決まったのが、〈こいのぼり〉〈あまりりす〉〈かみなり〉〈うさぎ〉の4グループです。「○○がいいんじゃない?」「いいね」と、すぐに決まったグループもあれば、それぞれが違った花の名前を希望していて決まらず、保育者の提案で春の花が描いてある絵を全員で見に行ったり、「アマリリスがいい!」と全員一致の意見になったグループもある等、様々な姿が見られていました。

そうして始まったグループ活動のひとつは、こいのぼり作りです。昨年度のもみじさんからもらったテーブルクロスのように、染め物をつくろう!ということになりました。まずは『何色のこいのぼりを作るか』という相談から始まり、実際に染めた際には誇らしそうな表情をみせていたこども達でした。

これからもこういったグループでの活動を多く取り入れ、友だちと関わって何かをする楽しさや難しさをたくさん経験できるようにすすんでいきたいと思っています。

